

各地で大雨が続いていますがいかがお過ごしでしょうか。緑化センターでは先日の大雨で側溝が詰まり、大量の土砂や枝葉が園路に流れ出て大変でした。現在はほぼ復旧していますのでご安心ください。

園内ではクチナシ類をはじめ、夏の花が咲きはじめています。

★ 開 花 情 報

コクチナシ（梔子）アカネ科クチナシ属（写真1左）

クチナシの名は果実が裂開しないことから、口無しに因むといわれています。コクチナシはクチナシの変種で中国原産の落葉低木です。6~7月頃に径3cm程度の白い花を咲かせます。葉は長さ2.5~7cmで、6~17cmのクチナシに比べ明らかに小さく、対生もしくは三輪生します。

オオヤエクチナシ（写真1右）はクチナシの八重咲き品種で大輪の花を咲かせます。コクチナシと共に庭木や街路樹、公園樹として用いられます。クチナシ類は夏場にオオスカシバというガの幼虫に被害されやすく、庭先でクチナシ類の葉が丸坊主になっている姿をよく見かけます。葉の上に大きなイモムシを発見されたら要注意です。果実は11~12月頃に橙色に熟し、食品の着色に使われる他、消炎、止血などの薬用にも用いられ、古代中国の本草書「神農本草経」の中品に「梔子」の名で記載されています。

場所：見本園（2種ともに）

アメリカデイゴ（写真2左）

南米原産の落葉低木で、アルゼンチンとウルグアイの国花になっています。わが国では暖地の公園や庭に植えられています。3出複葉の葉は無毛で互生し、葉柄や枝に刺があるのが特徴です。花は6~9月に咲き、花柄がねじれて旗弁が下側になります。本種は鹿児島県の県木ですが、沖縄県では同属でインド原産のデイゴが県花になっています。両種は花の付き方や咲く時期が違い、デイゴの花は葉の展開前の3月頃に開き始めます。また葉の形も異なるので、見分けは容易です。

この他、マメ科で筆を上に向けたようなピンク色の花を咲かせ、暗くなると小葉を閉じるネムノキ（写真2右）や、ムラサキシキブの仲間ですべて的に小ぶりのコムラサキ（写真3左）、中国原産で平安時代から記録のある、つる性木本のノウゼンカズラ（写真3右）のオレンジ色の花も見ごろを迎えています。

★園内見頃状況まとめ

咲き始め	ノリウツギ, ナツツタ, ネジバナ 他
見 頃	コクチナシ, (写真1) オオヤエクチナシ (写真1), アメリカデイゴ (写真2), ネムノキ (写真2), コムラサキ (写真3), ノウゼンカズラ (写真3), リョウブ, アジサイ 他

※最も早い開花情報発信はツイッターになります

アカウント名 @Ryokkacenter

URL <https://twitter.com/ryokkacenter>

ぜひご利用ください。



写真1左 コクチナシ (見本園) H29.7.5



写真1右 オオヤエクチナシ (見本園) H29.7.5



写真2左 アメリカデイゴ (管理事務所前) H29.7.8



写真2右 ネムノキ (正面ゲート) H29.7.4



写真3左 コムラサキ (苗畑) H29.7.8



写真3右 ノウゼンカズラ (学習展示館壁面) H29.7.9